

明石市立大蔵中学校だより「2019年11月13日（第29号）」

## 書あり 師あり 友ありて



カルチャー部もがんばってます！

～ 大蔵コミセン祭りに参加しました ～

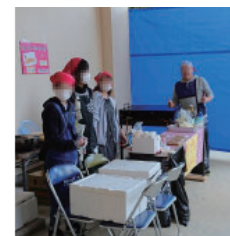
学校長 平田 高之

11月10日（日）に、晴天で秋風が心地よい中、「第33回大蔵コミセン祭」が行われ、本校カルチャー部とPTAが参加をされました。「学校だより第21号」で、プラスバンド部の地域活動を紹介させて頂きましたが、カルチャー部もがんばってくれています。

「学校だより第3号・26号」で、普段の活動や文化発表会での展示について少し触れさせて頂きましたが、今回は、素晴らしい生花のアレンジ合作の展示に加えて、お茶席で、料金を頂いてお点前を披露するというものでした。本校生徒や保護者の方の他に、一般のお客さまや、地元の辰巳議員・井藤議員等にお出しするという事で緊張していたようです。森井先生もかけつけてくれました。しかし、普段の練習の成果を発揮し、中学生の頑張っている様子は、多くの大人の方から大変好評でした。これも、普段の活動で大変お世話になっている茶道の金丸先生と華道の光永先生のご指導のおかげだと思っております。本当にありがとうございます。



また、PTAの皆さんは、焼きそば、たこせん、綿菓子を出店され、会長自らクッキングパパとして焼きそばを調理されていましたが、味は大変美味しかったですよ。準備から片付けも含めて、本当にお疲れさまでした。



## 私たちも生徒に負けず勉強中です！

教員は、「教育公務員特例法」において、「教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」とされ、同時に「教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。」とされています。

本校の教育研究は、本年度「単元計画に基づく授業マネジメント・「何を学ぶか」から「何が出来るようになるか」へ」を研究主題とし、主には授業改善に取り組んでいます。

環太平洋大学次世代教育学部長の長谷 浩也教授を講師にお招きし、夏休みには、新学習指導要領が目指す教育について講義を受け、11月8日には研究授業を行いました。

2年5組で森井が理科を、3年5組で藤井が数学を、事前で作成した学習指導案をもとに授業を行い、全員が分かれて二人の授業を参観したうえで研究会を行いました。その中で、生徒の興味関心・学習への意欲づけの手立てや分かりやすさの工夫等、授業についてグループで協議したうえで全体発表を行いました。最後に、長谷教授にまとめとして講義をして頂きましたが、本校生徒の学習意欲の高さや（手前みそですが）本校教員の学ぶ姿勢についておほめの言葉を頂いたうえで、今後の研究への期待・課題について助言を受けました。

12日には、英語科が市内中学校英語科研究発表授業を行いました。3学期には、大学教授等の外部講師をお招きし、道徳教育と特別支援教育の校内研修会を予定しています。教員の指導力向上はもちろんですが、教員が学び続ける後ろ姿を生徒たちに見せることで、学ぶことの大切さを伝えていけるよう、今後も研修を進めていこうと考えております。

